

平成29年度の健幸都市づくり関連事業 の主な取組状況について

平成30年3月1日



草津川跡地公園でのウォーキング等を中心とした健康イベントの実施

まち

ひと

<イベント概要>

草津川跡地公園が身近な健幸拠点となるよう、草津まちづくり株式会社が行う賑わいイベントやくさつ健幸ウオーク2017と連携し、市民が参加しやすい健康づくりのきっかけとなるイベントを行いました。

【1】わくわくサマーランド 7月22日(土) 10:00~15:00

《子ども向けイベント》

キックターゲット&ストラックアウト・サーキットあそび(ボールあそび・鉄棒・マットなどをサーキット形式で一周。)の中で、プロの指導員が子どもに合わせたワンポイント指導を行い楽しく運動づくりのきっかけづくりを行いました。

《大人向けイベント》

パパもママも元気に！青空ストレッチとして、肩こり予防・体全身のリフレッシュ等トレーナーが前でストレッチ方法を指導し、必要に応じてサポートしました。



↑
わくわく
サマーランド →



【2】健幸フェア 9月23日(土) 10:00~16:00

- ・健康をテーマにしたイベントを実施。草津市内外の健康を取扱っている企業11業者18ブース出店しました。
- ・フェアでは健康診断、ストレッチ、サンプリングの提供を行い、メインステージでは、エクササイズや、立命館大学の教授による講演会、市民団体活動などの催物を行いました。



↑
健幸フェア →



【3】くさつ健幸ウオーク2017 10月29日(日) 10:00~16:00 台風のため中止

健幸都市くさつの啓発

ひと

しごと

【健幸都市くさつシンポジウムの開催】

平成29年9月24日に草津アマカホールで、健幸都市くさつシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、あいち健康の森健康科学総合センター長の津下一代さんを迎え基調講演していただいたほか、市・まちづくり協議会・企業の健康づくりの取組紹介やパネルディスカッションを行いました。



津下一代さんによる基調講演の様子

階段デザインの設置

ひと

しごと

【南草津駅階段へのデザイン設置】

住む人も訪れる人も健幸になれるまちを目指し、協会けんぽ滋賀支部と連携して、健康づくりのきっかけづくりを目的に、JR南草津駅の階段に階段の利用をうながすようなデザインを行う事業を実施しました。

今回、本市が包括協定を締結する大学に在籍する学生に募集し、最終選考に残った2作品について、市民投票および公開コンペによる審査・選考を行い、デザインを決定しました。

《作品名》「東海道・中山道たび丸探しの旅」



【市役所庁舎内階段へのデザイン設置】

草津市役所においても、健幸都市づくりの推進をめざし、一事業所として、市民の方や職員が率先して自らの「健幸」に感心を持ち、自ら「健幸」になるため、気軽に健康づくりのきっかけづくりに繋がるよう、階段を利用したくなるデザインを設置しました。



BIWA-TEKUアプリ

ひと

しごと

健幸ポイントについて、若い世代を含め更に多くの方に利用いただけるよう検討する中で、アプリの運用や広域での取組について検討する中で、協会けんぽ滋賀支部および東近江市・大津市・草津市の包括協定の枠組みを活用し、共同による多種多様な健康づくりに対応するウォーキングアプリを開発しました。

この結果、平成30年1月10日より、県内10市町によるBIWA-TEKUアプリの運用開始をしました。

なお、本市においては、これまでの紙によるくさつ健幸ポイント制度に加えて、アプリでの運用を開始します。



しごと

健幸都市宣言賛同事業所の賛同状況

協会けんぽの健康アクション宣言募集との連携やごみ減量推進課が進めている「3010運動+」の啓発などと連携し市内の事業所に健幸都市宣言への賛同の募集をおこないました。

合計113団体

平成29年度は、2月16日時点で35団体に賛同いただいております。

また、広報くさつやシンポジウムなどで賛同事業所様の健幸づくりの取組紹介もいただきました。



しごと

健幸都市づくりの推進に向けたICT・IoT連携協定締結

草津市、西日本電信電話株式会社（NTT西日本）およびオムロンヘルスケア株式会社は、このたび、それぞれが有する人的・物的・知的資源を有効に活用して協力することにより、ICTやIoTのノウハウを取り入れた健幸都市の実現に資する取組の推進や先進的な事業モデルの構築等を図り、健幸都市づくりを推進するため、健幸都市づくりに関する連携協定を締結することとなりました。

